俺の人生このままでいいのか？レポート

こんにちは、マスタングです。

このレポートは
「大企業に就職すれば将来安泰だ！！」
と考えていた僕が、

トヨタに就職したけれど、
ある事件をきっかけに
「俺の人生このままでいいのか？」と
将来に不安を抱えるようになったこと。

ビジネスと出会ったことで、
トヨタを辞めることになり、
さらに世界一周の旅に出たこと。

そして旅の途中、
23歳で１億を稼ぐ男と出会って弟子入りすることになり、経営者になった物語です。

文量は多いけれど、
「面白くて一瞬で読み終わった。」

という感想をたくさん頂いているので、
すぐ読み終わると思います。

魂込めて書いたので、
そこらへんの自己啓発本より
よっぽど内容が詰まっている自信もあります。

このレポートを読むことで、
昔の僕のように将来に漠然とした不安を抱えている人は
解決策が見つかるはずですし、

毎日同じことの繰り返しで人生退屈だという人、
「とりあえず金だ、金が稼げるようになりたいんだ。」
という人にも役立つはずです。

では、ここからが始まりです。

2016年、僕は3年間働いた
トヨタ自動車を辞めて起業した。

今はIT系の会社を経営しながら、
企業や個人をコンサルティングしたり、
プライベートでは趣味で海外を旅している。

おかげさまで毎日が充実している。

朝まで本を読んで知識を蓄えたり、
ジムで体を鍛えたり、
徹夜で映画やドラマを見てストーリーの勉強をしたり、
数億円稼いでいる先輩経営者と会って刺激を受けたり。

自分の将来の目標に向けて
収益と実力を高める日々を送っていて
毎日が楽しい。

しかし、

それとは対照的に、
トヨタ自動車で働いていた
数年前までの僕は今とは真逆だった。

トヨタといえば、就職活動でも人気な
超大手企業だ。

だが、僕はトヨタで働きながらも

「俺の人生このままでいいのか？」

という疑問を感じながら
毎日不安を感じて生活していた。

なぜなら、一言で言うと、
人生つまらなかったからだ。

毎日残業で忙しく、家に帰っても
仕事をしなければ仕事が片付かなかった。

理不尽な上司は何かと文句をつけてくるし、
朝と夕方では言ってることが違ってストレス。

世間では「まず3年働いてみろ」と言われているので
とりあえず3年目に突入したけど、
同じようなことの繰り返しで
成長の実感がないし、

休日に会社の駅伝や部の運動会に
駆り出されてプライベートを犠牲にするのが
超絶嫌だった。

と言いつつ、休みの日はあっても
特にやりたいことはないし、
仕事で疲れていて
気づいたら休みが終わっていた。

先輩社員は毎日遅くまで残って
ため息をつきながら仕事をしている。

全然楽しくなさそうだし、職場ではバタバタと
うつで休職する人が発生してるし。

こんな状態だったので、
現状が嫌で嫌でしょうがなかった。

10年後、20年後、自分も同じようになるのか？
と考えると、将来に１ミリも希望が持てなかったから
だ。

しかしその後、ビジネスと出会うことで
僕の人生は一気に急展開する。

結論から言うと、
僕がこのレポートで伝えたいのは、

自分でお金を稼げれば人生が変わる。

自分で稼げたら、嫌な環境で

ストレスに耐えながら働き続けて、
貴重な人生を無駄にする必要はない。

という事だ。

僕はこのことに気付き、トヨタを辞めた。

そして、ビジネスをして、
自分の力で稼げるようになったことで、
今はもの凄く充実した毎日を送っている。

まずは、そこまでに至った
物語を話していこう。

2013年４月１日、僕はトヨタ自動車に入社した。

僕は燃えていた。

この会社でのし上がって金持ちになり、
自分の考えた車を世に残したいと考えていた。

そもそも、なぜ僕がトヨタに
入ろうと思ったかというと、
「お金がなくて苦労する人生を送りたくない。」

これが大きかった。

僕の家は貧乏だった。

そのせいで多くの事を失ったし、
思春期の人格形成に大きな影響を与えた。

お金がなくて我慢の連続だったし、
お金がなくて人からバカにされたし、
お金がなくて親は毎日のように喧嘩していた。

僕は貧乏が嫌だった。
だからこそ貧乏から脱出したかった。

なので、大企業に入れば
将来お金に困ることはないだろうと、
いつの間にか考えるようになっていった。

僕は１９８８年、青森県のとある町に生まれた。

僕が育った町は
青森県民に聞いても名前も
出てこないような超田舎町だった。

家からコンビニまでは車で１０分と、
コンビニなのに全然コンビニエンスじゃない
本当に田舎な所だった。

そんな田舎町で、

中卒でトンネル工事の作業員をしていた父と
北海道から嫁いできた母の間に生まれた。

物心ついた頃から親はケンカしていた。
二人は顔を合わせるとケンカし、怒鳴りあっていた。

僕はケンカをしている時の二人が怖くて、
いつも隣の部屋で布団に包まって
耳を塞ぎながら泣いていた。

ケンカの原因は金だった。

父
「いくら使えば気がすむのよ！ああ゛？！！」

母
「だから！！必要だから使ってんじゃないの！！」

ケンカの内容は母が金を使いすぎだとか、
生活費が足りないとか、そんな話だった。

僕はこのケンカが疑問でしかたなかった。

ケンカなんてしても解決しないんだから、
話し合えば解決するんじゃないか？

と思っていた。

でも、小さかったので思っていることを
上手く親に伝えることが出来なかったし、
何より親が怖く、
気づいたら親のケンカには
一切関わらないようにしていた。

その影響か、親に対する感情が消えて、
実家に住んでいた18歳までの間は
親が泣いていようと怒っていようと

何も感じないようになっていた。

もし、このレポートを親の立場で見ている人がいるなら、強く言いたのは、

子供がいる人はどんな理由があっても
子供の前ではケンカしないでくれ。

ということだ。

親のケンカほど、子供にとって辛いものはない。

僕は小さい頃、母から教育という名の下に
虐待的な事もされた事があるけれど、
それよりも親のケンカの方が僕の中では辛かった。

なぜお互い好きで結婚したはずなのに、

いつもケンカしかしないのだろう？

と、ずっと苦しんでいた。

実際、夫婦ゲンカは子供の脳に悪影響を
及ぼす事が研究機関の調査から分かっている。

特に言葉による夫婦ゲンカは暴力よりも最悪で、
親の口ゲンカを見て育った子供は
普通の人に比べて脳が約２０％萎縮するのだ。

（ちなみに、暴力を見て育った子供は
意外なことに普通より３％しか萎縮しない。

それだけ言葉の影響力は大きいのだ。）

脳が萎縮すると、子供はうまく感情を

コントロールできなくなってグレたり、
学力が低下する。

実際、僕も小さい頃は感情のコントロールが
うまく出来ず、中学校の頃は
バカにされたり、相手から何か不快な事をされると、
カッとなってキレる子供だった。

それぐらい、親の言動一つ一つが
子供に与える影響は大きいのだ。

なので、お願いだから子供の前で
ケンカはしないで欲しい。

話を戻して。

お金のことで親がケンカしている姿を見て、
僕は素直になれない子供になった。

やりたい事があってもお金がかかるので素直に言えず、
何事も我慢する子供になった。

そして、お金をかけない事こそが
至高だと考えるようになったのだった。

例えば高校の頃、
僕は塾に行きたかったのだけど、
我が家は高校に通うためのバスの定期代ですら
用意できるか危うかったので
口が裂けても塾に行きたいなんて
言える雰囲気じゃなかった。

なので、塾に行っている人間が羨ましかった。

でも、自分は塾に行けないから

塾に行かない自分を肯定し、

「別に塾なんて行く必要ねーだろ。」と
塾に行っている人間を否定するようになった。

そして、塾に行っているのに
自分より成績が悪い人を見ると、
塾に行ってるのに自分より成績が悪いのはダサい。
と心の中で見下すようになった。

で、これの何が問題かって、

自分がショボくても
俺は金かけてないからしょうがない。
と言い訳を作るのが得意になってしまったのだ。

これが本当に良くなかった。

例えば、テストで成績が良い人間を見ると
あいつは塾に行ったり参考書を買っている。
だから成績が良くて当たり前。

という風に、
自分が勉強が出来ないのはお金が無いからだと
お金のせいにするようになってしまったのだ。

今考えると、
それは言い訳でしかないのだが。

まあ、適当な理由をつけた方が
勉強不足で成績が悪い自分を否定せずに済むから
貧乏に逃げていたのだろう。

幼かった。

こんな風に、貧乏は多感だった僕の
幼少期〜思春期にかけて強い影響を及ぼした。

大抵のお金がかかることは我慢しなくてはいけないし、
他人が羨ましいけれど、貧乏なので出来ないなんて
かっこ悪いから他人を否定するようになるし、
おまけに見下すようになった。

高校までは人も信じられなかった。

それは高校の時に親父が無職で
その事を同級生に話したら
クラス中に一気に広まって
バカにされるようになった事が大きい。

家に帰っても落ち着ける場所がなくて、

学校から帰ると親はケンカしているし、
親父は酒を飲んだくれて飲酒運転で出ていくし、
母親は泣いてるし。

もう学校も家も嫌で消えてしまいたかった。

こんな風に、貧乏だとまあ良くない。

貧乏だから良い事なんて一個もないのだ。

なので僕は貧乏を悪だと考えている。

お金がないなら稼がないといけない。

もしかしたら、
「世の中お金じゃない」という
意見もあるかもしれないが、
僕はそんなことないと思う。

もし、お金じゃないのであれば、
勤めている会社の社長から

「明日から君だけ給料半分ね」

って言われたら、
普通に「は？」と抗議するだろう。

そういう事だ。
お金じゃないわけないのだ。

確かにお金が１００％ではないかもしれないけれど、
資本主義社会である以上、
お金がなければ圧倒的に人生不利なのだ。

だからこそ、ある程度お金がないのであれば
お金を得るための努力をしなければ
いけないと思う。

話を戻して。

昔の僕は、
貧乏を抜け出すためには、
良い大学に行って、良い会社に入る。

これしか術が無いと思った。

なので、僕はとりあえず良い大学を目指した。

もちろん、私立なんて行くお金はないので、
授業料免除のある国立しか選択肢はなかった。

で、東北大学という、
東北の中ではそれなりの大学を
目指していたのだが、
勉強不足であっけなく撃沈した。

もう全然足りなかった。

で、僕は落ちたのが悔しすぎて親と担任に土下座して
浪人してもう一度だけチャレンジさせて欲しい。
と懇願したけれど、

当然我が家には予備校に行くお金はないし、
自宅浪人なんてお前には無理だ。
という事でこれまた撃沈。

そして、岩手大学という岩手県の大学に進学した。

で、その後、僕は東北大学を
落ちたのが悔しすぎて、
大学院でリベンジを果たすために猛勉強して、
東北大学の大学院にチャレンジして受かる。

学歴ロンダリングってやつに成功した。

そして、大学院での研究内容は
トヨタの仕事とは１ミリも関係なかったが、

トヨタならお金がたくさん貰えそうだし、
自分が考えた車を世に生み出せる。
かっけえ！将来安泰だ！と思い、
学校の推薦を使って入社することになった。

そして、冒頭でも話したように、
２０１３年４月、
僕は念願のトヨタに入社した。

で、ここでのし上がってやると
燃えていたわけだが、
入社前に抱いていたイメージと実際は全然違った。

入社前は、平日はバリバリ仕事をして稼いで、
休日はプライベートも充実！

毎日が刺激的！

というイメージだった。

でも、実際は

仕事は毎日同じようなことの繰り返しで
つまらないし、成長の実感がない。

それに残業で忙しい。

（その割に残業管理は厳しい）

これ会議要るの？ってレベルの
どうでもいい内容の議題に１時間は使う。

理不尽な上司は何かと文句をつけてくるし、
朝と夕方では言ってることが違ってストレス。

休日に会社の駅伝や部の運動会に
駆り出されてプライベートを犠牲にするのが
超絶嫌だった。

（↑これに関しては一番最初にやろうと言い出したやつ
誰だ？ってぐらいマジでイミフなイベントだった）

といいつも、休日は暇で
特にやることがなかった。

先輩社員は毎日遅くまで残って
ため息をつきながら仕事をしている。

全然楽しくなさそうだし、職場ではバタバタと
うつで休職する人が発生しているし。

何より驚いたのが先輩から聞いた話だ。

年収が９００万円ほどあるはずなのに、
住宅ローンの返済があるからお小遣いが１万円らしい。

トヨタ社員なのに全然お金ないのか・・・

これは超ショックだった。

それに、
10年後、20年後、こうなりたいと思える
尊敬できる人がいなかったし、
将来自分も先輩や上司と同じようになるのか？
と考えると、未来に希望が持てなかった。

「俺の人生このままでいいのか・・・？」

1年目、2年目となって仕事を覚え、
周りが見えてくるようになると、
うっすらと将来への疑問を感じるようになった。

でも、この時はせっかく入った
トヨタを辞めようなんて気は全然なかった。

自分が勝手に期待していただけで、
社会人なんてこんなものなのだろうか？

と、思っていたからだ。

しかし、ある事件をきっかけに、
僕はトヨタを辞めようと決意する。

親父が、死んだ。

前触れもなく、突然だった。
原因は脳の血管の破裂らしい。

突然倒れて、
その５時間後ぐらいには息を引き取った。

親父が倒れた時、僕は出張先にいた。

仕事中に親戚から倒れたという連絡が来た。

で、びっくりしてそのまま会社から
新幹線に乗って、青森の実家に向かったんだけど、

向かっている途中に親父が亡くなったと連絡が入った。

つい３ヶ月ほど前までは
普通だったのに、なんで・・・？

そう思って実家に帰ると、
僕は親戚から親父について
全く知らなかった事実を伝えられる。

実は親父は工事現場で
肉体労働をやっていた影響で
体中あちこちガタがきていて、
体が痛くて夜も眠れなかったそうだ。

親父は高齢で、普通だったら工事現場では
使い物にならない。

でも中卒だし、肉体労働しか出来ないので

「息子が大学院を卒業するまでは・・・」と
現場に無理を言って、
動かない体を酷使して働いていたらしい。

で、僕がトヨタに
入社したタイミングで
仕事は辞めたわけだけど、
体が痛いのはずっと続いていた。

でも、病院で治療するとなると
結構なお金がかかる。
なので安い焼酎を大量に飲んで
痛みをごまかしていたのだ。

当然、肝臓はボロボロで
緊急入院することもあったらしい。

でもお金がないので、「もう大丈夫だ」と
全然大丈夫じゃないのに速攻で退院していた。

で、体が痛いのでどんどん酒の量が増えて、
アルコール中毒になり、
昼も夜も酒を飲むようになったらしく、
突然暴れることもあったらしい。

まともな食事もとらずに酒ばかり飲んで
血管はボロボロ。

最終的に脳の血管が破裂して、
死に至ったのだ。

で、僕がショックだったのは
周り全員がそのことを知っていて、
父が僕にだけその事を隠していたことだ。

「しん（僕の名前）には心配かけたくないから
絶対に言うな」

と、親戚に口止めしていたらしい。

僕は涙が止まらなかった。

ああ、また金だ。

せっかくこれから
親孝行しようと思っていたのに。

６０過ぎなのに、２０代、３０代の人に混じって
僕が大学院を卒業するまでずっと働いてくれて。

ようやくこれから恩返し
出来ると思っていたのに。

金がないから安い賃金で
過酷な条件でも働き続け。

金がないから病気でも
病院に行くことすら出来なかった。

まただ。
また金がないせいで
金があったら絶対しないであろう苦労をしたのだ。

僕は心の底から金がない自分が悔しかった。

金がないことは悪だ。

そして、うっすら感じていた疑問が
確信に変わった。

俺の人生このままでいいのか？

いや、いい訳がない。

一度きりの人生なのに、
充実感のない環境で
１０年、２０年と過ごすこと。

先輩や上司みたいに
ため息をつきながら働いたり、
節約のために、自分で稼いだお金を
好きに使えないこと。

全て嫌だった。

そして一番は、
お金がないという理由で
「嫌だ、いつか辞める」と言いながらも結局辞められず、

精神を病んだり、
ストレスで病気になること。

これが一番嫌だった。

トヨタを辞めよう。

僕は決意した。

そして、この後いろいろあって、
会社を辞めることになる。

で、その話をする前に
僕がこれを読んでいる人に
話しておきたいことがある。

それは、

会社が嫌だったら辞めていいし、
働きたくないなら働かなくていい。
いうことだ。

もちろん、そのような状態になるための
下準備と努力は必要だけど、
今は働かなくても生きていける時代なのだ。

僕も今インターネット上に作った仕組みが
動いてくれているので、働かなくても
収益が生まれている。

そのおかげで、仕事のことを
心配せずとも安心して旅に出たり、
人と飲んだり、本を読んだり出来ている。

なので、働きたくない人は働かなくてもいいし、
怠けたい人は怠けてもいい。

今はそれで生きていける時代なのだ。

そうなるための詳しい方法論は
今後LINEやyoutubeで話していくとして、
インターネットが出来たおかげで、
昔では出来なかった生き方が
出来るようになったのだ。

会社員だと目の前の仕事にいっぱいいっぱいで
外の世界を見る余裕がないかもしれない。

僕もそうだった。

だけど、少し引いた目線で世の中を見ると、
実に色んな稼ぎ方、働き方がある。

僕は仕事柄、経営者と会うことが多いけれど、
こんな事でこんなに稼げるのか！！
と驚かされることがたくさんある。

なので、良い大学を出て、
良い会社で働くことが全てじゃない。
と僕は伝えたい。

それで幸せなら良いけれど、
僕は幸せじゃなかった。

無理に世間が決めた良い人生を
生きる必要はないのだ。

あなたはあなたにとって
良い人生を生きなくてはならない。

これは以前尊敬している経営者に
言われたことで、今も僕の道しるべに
なっている言葉なんだけど、

「お前が不幸だったら周りも不幸になるんだ。」

ということだ。

これは本当にそう思う。

自分が幸せじゃなかったら
未来の家族、周りにいる人間も結果的に
不幸になる可能性があるのだ。

どういうことか？というと、
例えば会社員の場合、

仕事が嫌だ、辞めたい
↓
ストレス
↓
仕事が思うように進まない
↓
職場に迷惑
↓
上司から怒られる
↓
さらにストレス
↓
家族にもストレスが伝わり、
家族もストレス
↓
以下、地獄連鎖

こういうことだ。

よく、

「自分が会社を辞めたら周りに迷惑がかかる。」

という理由で自分を犠牲にしながら働いている人がいる。

確かに辞めたら短期的には
迷惑はかかるかもしれない。

ただ、「嫌だ、嫌だ」と言いながら働いている人間がずっと働き続けるというのは、長期的に考えたら
職場的にも、会社的にも、社会的にも
迷惑じゃないだろうか？

批判を恐れずにあえて言うが、
サラリーマンというものは
所詮、会社の歯車でしかない。
自分がいなくても代わりはいるのだ。

大企業であればあるほど、
自分の代わりなんていくらでもいる。

今、経営者の立場から言わせてもらうと、

「自分が辞めたら職場の仕事が回らなくなる。
だから会社を辞められない。」

と心配になる人がいるが、
それはあなたが心配することではないのだ。

あなたの責任じゃない。
社長や上司の責任だ。

辞めても大丈夫なように
業務をマニュアル化したり、
仕事を効率化する仕組みを作らなかった
経営に問題がある。

あと、上司や先輩は

「俺も昔はそうだった。
もう少し頑張ってみろ。
考え方を変えればやりがいは見つかる。」

と、言ってくるが、
10年後、20年後、その先輩たちがいなくなった時に、
人生を後悔しても誰も責任なんて取ってくれない。

当たり前だけど。

結局自分の人生なんだから
自分で判断して自分で責任を取らなくてはいけないし、
逆にいうと、自分次第でいくらでも良くできるのだ。

なので、自分を犠牲にしてまで
嫌な場所で何年も働く必要はないのだ。

もし嫌なら抜け出さなければいけない。

ただ、勢いで辞めても自分が困るだけなので、
自分が困らないようにするためにも、
準備をしていく必要がある。というわけだ。

話を戻します。

トヨタを辞めよう。

僕は決意した。

期限は３年。
29歳までには辞めると決めた。

そこから僕はトヨタ以外の道を模索し始めた。

僕は今会社経営しているけれど、
当時は今みたいに起業するという発想がなかった。

起業はどこか遠い世界の話だと思っていたからだ。

なので、最初は転職を考えた。

で、転職サイトに登録したり、
異業種交流会に行きまくって１００人以上話を聞いた。
けど、いまいちやりたいと思える仕事がなかった。

結局、どこの会社で働いても
部署によっても仕事が違うので、
「入ってみたけど違った」ということはあるし、
職場の雰囲気や人間関係も
実際に入ってみないと分からないので
運ゲーだと思った。

それに、転職したとして

給料が下がる場合がほとんどだし、
給料が高い会社は今以上に忙しいことが
分かった。

そういった話を聞けば聞くほど、
分からなくなった。

「自分は何がしたいんだ？

金が欲しいのか？
ただ単に自由が欲しいのか？
仕事のやりがいが欲しいのか？」

疑問が深まるばかりで、
悶々とした日々が３ヶ月ぐらい続いた。

この時は非常に苦しかった。

自分が何をしたいかも分からないし、

辞めると決めている仕事への
モチベーションが湧かず、
停滞してる感が半端じゃなかった。

もしかしたら、このまま何も変わらずに
30歳、40歳、と時間が過ぎ、
あっという間に定年になるのでは？

そう考えるたびに焦りを感じ、不安になった。

でも、焦るだけでどうしたら良いかは
分からないままだった。

そんな時だった。
起業の世界に出会ったのは。

たまたまフェイスブックで
名古屋の起業セミナーの広告を見て、
ビジネスというものを知った。

たしか、副業からスタートして、
将来は独立しませんか？的なセミナーだった。

これだ！と思った。

「かっけえ、自分の力で金稼げたら最高じゃん。
会社辞めれるかもしれん。」

でも、同時に不安だった。

「俺に出来るのか？」

割と高額なセミナーだったので、
「うーん、うーん」と１週間ぐらいどうしようか悩んだ。

で、埒があかないので問い合わせしてみたら、
参加してダメだったら返金保障もあると言われたので
セミナーに出席して、僕はビジネスを始めた。

ビジネスの勉強は超楽しかった。
それまでのつまらなかった日常が
一気に楽しくなった。

セミナーでは、
「ビジネスとは人の悩みを解決する行為で、
解決した対価としてお金をもらうのだ」

と教えられた。

今思うと、超基本事項だったのだが、
ビジネスのビの字も知らない僕には
超衝撃で感動した。

なるほど、確かに世の中のビジネスは全部そうだ。

飲食店だったら、

メシが食べたい。というお客さんに
お金と引き換えに食事を提供している。

トヨタであれば、車を欲しいというお客さんに
車を提供してお金をもらっているし、

トヨタ社員であれば、
社長が車を作りたいけど、社長は車を作れない。
だから労働力を提供する代わりに
給料を貰っているわけだ。

なるほど。
てことは、サラリーマンでいる限り
給料が決まっているから
社長より金持ちにはなれないのか。

たくさん金を稼ぎたかったら自分で
ビジネスするしかないわけだ。

こんな風に、ビジネスを通して、

世の中の仕組みが少しずつ見えてくるのが面白かった。

実生活で役立つ感が半端じゃなかった。

で、僕はビジネスにハマり、
家に帰った後、会社の昼休みなど
時間があったら勉強するようになり、
暇だった時間が充実し始めた。

おかげで毎日が超楽しくなった。

で、勉強したことを生かして、
色々試していたら、ビジネスを始めて３ヶ月後には、
単発だけど４０万円ぐらい稼げたりもした。

そんな感じでビジネスを通して
お金も少し稼げたり、社長の知り合いも増えたり、
新しい世界が広がって超楽しかった。

もっともっと頑張って早く会社をやめるぞ〜！！

でも、そう意気込んでいた矢先、
僕の生活は一変した。

え・・・？
新しいプロジェクトですか・・・？

一気に血の気がひいた。
今やっている車の開発の他に、
新しい技術の開発を先輩と一緒に
やることになった。

ビジネスを始めて
少し仕事の要領が良くなったせいか、
もう少し負荷をかけることになったらしい。

無理だと思った。

ビジネスをやるために
会社にいる間は仕事を頑張って
ビジネスの時間を確保しているのに、
仕事が増えたらそれどころではない。

で、嫌な予感は的中した。

知識も経験もない分野だったので、
会社にいる時間だけでは全然足りなかった。

それまでやっていた仕事だけで
ギリギリだったのに
そこから更にやることが増えて、
仕事は持ち帰りになったり、
休日出勤をした。

当然ビジネスどころではない。

昼休み、家に帰ってから、土日、
空き時間は全て仕事をしているか

仕事の勉強時間になった。

そうでもしないと仕事が追いつかなかった。

超苦痛だった。

もう考えることが多すぎるし、
ミスが増えて上司に怒られるしで
ストレスが半端じゃなくて、
この時は本当に限界だった。

頭がボーッとして何も考えられないし、
寝ていると

「う゛ う゛ う゛ ううう」と

自分のうなされている声で目が覚めるのだ。

こんな状態が２ヶ月以上続いた。

この時期はいつも憂鬱な気分だし、
何もやる気が起きなくて、
鬱の初期症状みたくなっていた。

で、ある日、
知り合いの経営者さんに相談したら、
さっき話したように、
「お前が不幸だったら周りも不幸になるんだ。」

と言われた。

涙が出た。
俺は何を頑張ろうとしていたんだ。

独立したかったのに、
いつの間にか大切なものを犠牲にしながら
やりたくない事を無理して頑張っていた。

そうだ、頑張らなくてもいい。

辞めよう。

ずっと踏ん切りがつかなかったが、
この人の言葉がきっかけで
僕は会社を辞めることにした。

次の日、

「会社を辞めさせてください」

と上司に伝えた。

そこからが超大変だった。
上司と先輩の鬼説得が始まった。

辞めてどうする？
今忙しいから、ちょっと疲れてるんだろ。

俺もそういう時期があったよ。でも大丈夫。
違う部署に行ってみるのはどうだ？
もう少しトヨタで修行を積んでからでも遅くはないん
じゃないか？
あと5年は早いな。
トヨタの仕事も出来ないお前が起業なんて出来るわけな
いだろ！！！

毎日のように打ち合わせを設定されて、
ありとあらゆる先輩から色んなことを言われた。

疲れて頭がおかしくなったと思われたらしく、
心理カウンセラーの診断を受けて来いとも言われた。

そしたら、逆にカウンセラーさんに

「私応援しますよ！起業頑張ってください！
上司の方には鳴海さん（僕）は大丈夫ですって
言っておきますから！」

と応援された。

これには勇気が出た 笑

そんなことが１ヶ月ほど続き、
上司とその上司とそのまた上司まで話して、
３年目の３月末でトヨタを辞めた。

いやあ大変だった。

で、辞めたは良いもののアテはなかった。
ここから先どうしたものか。

で、僕は色々と考えた結果、
世界一周をしようと決める。

なぜ世界一周か？というと、

単純に旅に憧れがあったのと、

海外を回りながら起業アイデアを見つけたかったから。

そして、なんなら旅をしながらお金を稼ぎたい。
と思ったからだ。

で、最初はフィリピンのセブ島で２ヶ月間の
英語留学をして、刑務所のような学校で
朝の６時から夜の９時までひたすら勉強した。

もう英語が出来なくてできなくて。

同級生が昇級テストに合格して
上のクラスに上がる中、
僕は不合格で上がれなかったり 苦笑

で、フィリピンで何かビジネスできないかな？

ということで、ストリート書道をやったりした。
フィリピン人の名前を画用紙に筆で書いて、
売ったりしていた。

でも、フィリピン人だからお金を持っていなくて、
全然儲からない 笑

２０枚ぐらい売れたけど一枚１０円とか。
５時間ぐらい路上に座って書道していたけど、
２００円ぐらいしか儲からなかった 笑

今考えたらフィリピンに遊びに来た
外国人向けにやれば良かったな 笑

そして、セブ島留学が終わり、
次はオーストラリアに行った。

で、このオーストラリアで
僕は運命の出会いを果たす。

フィリピンでの学びを活かし、
ストリート書道は儲からないので
オーストラリアではもっと単価が高い
ビジネスをやろうと思った。

で、アイディアが浮かんだので、
とりあえず２００枚ほど英語でチラシも作り
それをポスティングしようとしていた。

そんな時・・・

ね、年収１億円・・・・！？

たまたまネットをしていたら、
あるブログを発見した。

23歳で年収１億円の起業家のブログだった。

びびった。
23歳で大学生なのに年収１億円って。

冷静に考えると超絶怪しかったのだが、
書いてある内容が結構まともだったので
妙に納得した。

自分が今まで経営者さんたちから学んだことと
共通することを言っていた。

で、毎日メルマガを読んでいるとある日、

銀座で懇親会をやります。
参加したい人は熱い想いを書いて送ってください。

というメールが来た。

おお、一億の男に会えるのか。

興味ある。超興味ある。
そんな奴本当に実在するのか？

・・・でも俺今オーストラリアだしな。
さすがに行けないなあ 笑

と、一度はそのメールをスルーした。

でも時間が経てば経つほど気になって
色んな疑問が湧いた。

23歳で一億稼げるってどんなやつだ？
どうやって稼いでるのかな？
やっぱ高級車とか乗ってるのかな？

知りたい事が頭の中に山ほど湧いてきて、

あと２日で締め切ります。

というメールが来た時、
僕は行こうと決意する。

この時は死ぬほど迷った。

自分の中で行く理由を見つけるために必死だった。

例えば、謎の脳内ワークをして、

俺がもし１億持ってたらどうする？
会いたい人がいたら金なんか気にせず行くよな？
てことは、それが金持ちの価値観だ。
だからブラジルだろうと、アメリカだろうと行くんだ。

と言って自分を納得させまくった。

冷静に考えたら２時間の飲み会のために、
オーストラリアから日本に行くなんて馬鹿げてるけど、
でもそのおかげで今があるのだから
この時決断した自分を褒めてあげたい。

で、一億の男と出会うわけだけど、
出会ってからのエピソードは
LINEに書いてある通りです。

一億の男に出会う
↓
上場企業をコンサルしてたとか
スケールの違いすぎる
エピソードを聞きまくる。
↓
この人は本物だと確信
↓
旅のために貯めた資金を
ほぼ全部使って弟子入り
↓
オーストラリアに戻り、
ネットを使って
収益が出る仕組みを作る
↓
稼げるようになる

という流れです。

かなり長くなりましたが、
このレポートで伝えたいのは
最初にも言った通り、

自分でお金を稼げれば人生が変わる。

自分で稼げたら、嫌な環境で
ストレスに耐えながら働き続けて、
貴重な人生を無駄にする必要はない。

ということです。

じゃあどうやってやるの？

という方法論はあとでいくらでも勉強できますが、
これは方法論よりも大事なことなので、
まず今回はこれだけ覚えてもらえれば、と思います。

稼ぐ方法なんていくらでもあるのです。

僕はネットでも稼いできましたし、
リアルでも稼いできました。

インターネットを活用した方が効率が良いから
ネットを使っていますが、
別にネットがなくても稼げます。

巷では今の時代はこれが稼げる！
と消費者を煽りまくる詐欺みたいなビジネスも
たくさんありますが、んなわけはありません。

ビジネスの思考回路さえ身につければ
何をしても稼げるのです。

で、稼げるようになると単純に楽しいですし、
安心感が半端じゃありません。

この仕事、あと何年続けるのかな？

なんて考えなくても、収入があれば
辞めたくなったら明日辞めればいいのです。

もちろん現実問題、引き継ぎとか色々ありますが、

「会社を辞めたいけれど、
お金がないから辞められない。」

と

「お金はあるから辞めたきゃいつでも辞められる。
でも仕事が楽しいからやっている。」

では雲泥の差があります。

これは、今回のレポートに出てきた
尊敬している経営者さんの言葉ですが、

「人間、選択肢が無いのが一番不幸だ」

と言っていました。

会社を辞められない。
高いから買えない。
旅行に行きたいけど時間がない。

これ、本当は全部、
自分次第でなんとか出来る事なんですが、

苦しんでいて余裕がない時って
選択肢があるんだけど、
視野が狭まっていて
見えなくなっているのです。

良い会社で高い給料を
もらうだけが全てじゃありません。

世間体や安定を気にしても
それらが幸せに繋がるかは別問題です。

実際、銀行員でめちゃめちゃ偉くて
お金はたくさんあるけれど、
仕事が死ぬほどつまらなくてビジネスを
始めた人だっています。

僕なら年収５００万円で
世間体が良い仕事よりも、

ネット？何それ？
あいつ何やってるかよく分かんねー。

と言われながらも
年収５０００万とか１億あって
旅をしたり、やりたい事を事業にして
稼ぎまくる方が絶対人生楽しいと考えています。

というか、資産を何億円も持っていても
退屈で人生がつまらない人は大勢いるので、

自分の立てた目標に向かって頑張って上を目指す、
そして結果を出す。

という姿勢が大事だと思っています。

また、

「嫌な仕事で給料も低い。
その現状が嫌だ。人生変えたい。」

という人はさっさと稼いで一刻も早く
そこから抜け出さないといけません。

レポートでも話した通り、
日本は資本主義社会なので、
お金がない人間は人生不利です。

金銭的に満たされていないのであれば、
まずは稼がないといけません。

日本と海外両方を見たからこそ分かるのですが、
この世界はお金がある人間が
有利になるよう出来ています。

特に投資の世界はモロにそうです。

お金がある人間には資産が５倍にも１０倍にもなる
オイシイ話が入ってきて、
お金がない人にはそもそも情報が入ってきません。

例えば、ビットコインなどの仮想通貨は
金持ち達が裏で協力して価格を上げたり、
下げたりしています。

金持ち達が莫大な富を使って価格を釣り上げて、

それを見た庶民が

「今はビットコインが上がってる！
買いだー！」

と価格が上がった頃に
金持ちが一斉に売って、金持ちだけ儲かる。
庶民は損をして死亡。

ということが現実に起こっています。

金持ち達が儲かるように
世の中都合よく出来ているのです。

今世間では格差がどうとか言われていますが、
正直格差は無くなりませんし、
むしろ広がる一方です。

世の中を動かしている
金持ちからしたら格差をなくすメリットが
１ミリもないからです。

だからこそ、格差が嫌だったら、

格差の上側に行く必要がありますし、
そのために努力をする必要があります。

というか、格差格差言われていますが、
生活保護がある日本は
お金がない人にもめちゃめちゃ優しい国です。

日本で金持ちになるのなんて簡単です。
なぜなら、努力でなんとかなるからです。

フィリピンだとパソコン一つ買うのも
月収５ヶ月分ぐらい必要です。

そんな国で生まれたら人生逆転なんて
めちゃめちゃハードルが高い。

でも、日本だとちょっと頑張れば
パソコンが買えますし、ネットにも繋がります。

で、知識さえ身につければ、その武器を使って
いくらでも富を生み出すことが出来るのです。

僕も最初、ネットビジネスをやる前は不安でした。

プログラミングなんて出来ないですし、
ネットとかバーチャルな世界はよく分からんからです。

でも、そんな心配はいりません。

プログラミングなんて１ミリもいりません。

メールが出せて、ネット検索ができれば
なんの問題もありません。

他のツールは少しずつ覚えていけば良いのです。

おそらくビジネス初心者の人は到達するまでの

道が見えていないので、

「そんなん出来たらそりゃいいよ。
でもそんなの出来るわけないだろ。
出来たとしても一部の人間だろ。」

と思うかもしれません。

でも、月収１００万ぐらいなら
僕の周りには腐るほどいますし
完全に努力のレベルです。

ちゃんと学んで、ちゃんと仕組みを作れば、
美味しいものを仲間と食べたり、
旅行していても、

「あ、また売れた。」

と収益が上がるのが日常になります。

その間、僕は働いていないけれど、
インターネットが働いているので、
自動的に世の中に価値提供をしてくれるわけです。

で、そうなるためには知識が必要です。

知識を手に入れると、
あれこれ試行錯誤しなくても
うまくいく方法が分かります。

自分で無駄な試行錯誤しなくては良いということは
時間が短縮できるし、
長期で見たらお金の節約にもなります。

知識がない人が１年かかることを
知識がある人は１ヶ月で出来てしまう。

ということがビジネスの世界では
平気で起こります。

このレポートをここまで読んでくれている方は
成長意欲のある人だと思うので、
あえてはっきり言います。

世の中、頑張ったかどうかじゃないのです。

頑張って金持ちになれるなら
ブラック企業のサラリーマンが
一番金持ちのはずです。

でも現実はそうじゃない。

頑張ったかどうかではなくて、
努力をいかに効率よく成果に変換するか。

これが大事です。

上手くいかないなら上手くいくための
方法を勉強しなくてはいけません。

そうすれば、少ない努力でも
効率よく成果が出せます。

僕はビジネスに関しては
投資しまくりました。

セミナーに行ったり、
コンサルも受けました。

短期的にはお金がかかりましたが、
そのおかげで今はトヨタ時代の１０分の１の労力で
トヨタ時代より稼げています。

やっぱりショートカットは大事だなと感じます。
なぜなら時間には限りがあるからです。

昔は独学こそ至高だと思っていましたが、
どう考えても効率が悪いと知りました。

お金は単なるツールでしかありません。

貯金の残高が増えても
数字が増えただけでは
人生は豊かにならないのです。

節約をしまくって貯金をしたら
貯金残高は増えるかもしれませんが、
その分もっと大切な
時間や人生の楽しみを犠牲にします。

もちろん貯金が趣味の人は良いです。
僕も会社員時代は貯金を頑張っていました。

でも実際やってみて
我慢をしながら貯金する行為は
苦痛が伴いましたし、
僕は楽しいと思えませんでした。

それよりも、お金を使いまくって勉強し、
世の中に価値を提供して人を喜ばせたり、

その対価としてお金を稼げるビジネスの方が
僕は好きです。

なので、
もっとお金を生み出せるようになるために
自分のレベルを上げたり、
その時間を短縮できるなら
僕はお金を喜んで使います。

それに、お金をケチって
時間がかかるぐらいなら、
その時間を使って稼いだ方が
圧倒的に早いです。

レポートでも話したように、
僕は元が貧乏なので、根はケチな人間です。

コンビニでジュースを買わないために
水筒を持ち歩いたり、
学生時代は１パック９８円の卵を買うためだけに
往復１時間以上チャリをこいで

買い物をしていた人間です。

でもその価値観だと、
どうやっても金持ちにはなれないと
金持ちと絡むことで気づきました。

人間の行動は価値観に左右されます。

稼げない価値観に染まっていたら
一生稼げるようにはなりませんし、

稼げる価値観と正しい行動があれば、
お金が入ってくるのは時間の問題です。

金持ちの子供が金持ちでい続けるのは
そういった金持ち教育を小さい頃から
叩き込まれているからです。

じゃあ、貧乏な家で育った人間は
一生金持ちになれないのか？

というとそんな事はありません。

価値観は、後天的に身に付けることができますし、
意識さえすれば貧乏な価値観を金持ちの価値観で
上書きすることができます。

なので、もしこれまで運が悪くて
人生がつまらなかった人でも
自分次第でどうにでも出来るのです。

僕なんて家が貧乏なのは超絶嫌だったし、
親がケンカしているのも超絶嫌でしたが、
逆に今はネタにしてますからね。

運が悪い、俺の人生最悪だー。

と言っていても、周りの人間が
どうにかしてくれるわけじゃないし、
むしろ人が離れていくので

運が悪いならネタにするぐらい方が良いのです。

運が悪いことをネタとしてネット上で発信して、
そこに共感する人が集まって
その人たちの悩みを解決するための
ビジネスを作ることだって出来ます。

それにネットなら顔出しをしなくても良いから
イケメンじゃなくても全く問題がないし、
芸能人のようなカリスマ性がなくても稼げます。

引きこもりの人がこっそりブログを書いて
一歩も家から出ずに金を稼ぐことだって
出来るのです。

こんな風に、
今がどんな状況でも人生は自分次第で
どうにか出来ます。

実際、僕の友達は借金２５０万ぐらいあって、
完済するのに１０年かかる予定だったけれど、
僕がアドバイスしたら１年で返済し終わったとか
普通にあります。

という感じで、
僕ばブログやLINE、youtubeで
人生をどうにかする方法や考え方について
ひたすら発信しています。

長いレポートなのにここまで読んでくれて
ありがとうございます。

これを読んだ人が、
昔の僕のように閉塞感でいっぱいで
将来に全然希望が見出せない
つまらない世界から抜け出して、

一度だけの人生を最高なものにしてくれると
幸いです。

では、続きはLINEで。

感想はどんな感想でも超喜びますので
どしどしお待ちしています。

面白い返信をくれた人とはZOOMしたり、
個別に返信したりしています。

また、積極的に返信をしてアウトプットしている人は
最初は文章が苦手でもどんどん上手くなっているので、
完璧主義にならずにどんどんやると成長につながりま
す。

ではありがとうございました。

マスタング

マスタングのLINEマガジンは
下記から登録できます。

LINE登録はこちら